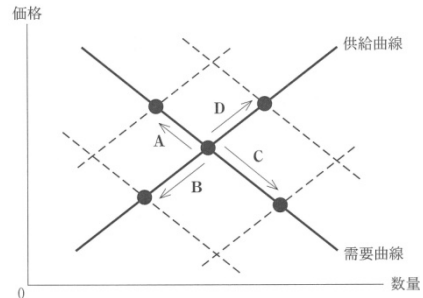


模試と同傾向の出題 ～ベネッセ・駿台模試より～

倫理、政治・経済

センター試験・第6問 問7

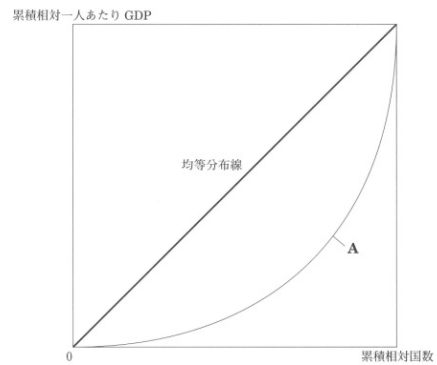
問7 下線部③のあり方の変化は、市場に対して影響をもたらす場合がある。次の図には、スポーツ用品の需要曲線と供給曲線が実線で描かれている。また、図中の矢印A～Dは均衡の移動を表している。スポーツ用品の生産者は、当初、賃金の安い児童を多く雇用していたが、その後、国際NGO(非政府組織)の働きかけなどにより、生産者には国際的な労働基準を遵守することが求められるようになったとしよう。そのため、生産者は児童を雇用せず、より高い賃金を支払うようになったとする。他の条件を一定として、当初の均衡から、生産者が高い賃金を支払うようになった後の均衡への移動を表すものとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 39



- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D

第1回ベネッセ・駿台マーク模試・第7問 問9

問9 下線部①に関連して、次の図は、世界の200か国を一人あたりのGDPの低い順から高い順に並べて、縦軸に200か国の累積相対一人あたりGDP、横軸に200か国の累積相対国数をとったものである。このとき、200か国のそれぞれのGDPが等しい場合には、原点を通る45度の直線(均等分布線)となる。しかし、各国の一人あたりGDPに格差があると、曲線Aのようにこの直線から遠ざかるようにして右下に弧を描くようになる。現在このような状況にある世界の200か国を均等分布線に近づける方法として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 63



- ① 発展途上国に対して、温室効果ガスの削減について先進国と同じように削減することを、国際機関が義務づける。
- ② 発展途上国は、モノカルチャー経済を構築することによって、自国製品の国際競争力を高める。
- ③ 先進国に対して、GDPの一定割合を発展途上国に直接投資することを、国際機関が義務づける。
- ④ 先進国は、各国通貨を変動相場制から固定相場制に変更することによって、為替相場を安定させる。

今回のセンター試験『倫理、政治・経済』第6問、問7(解答番号39)では、人件費が上昇したときの需給曲線の動きが問われた。設問文から人件費が上昇したときという場合を判断し、コストの上昇によって供給曲線が需要曲線に沿って左上に移動することの理解が求められた。解答に際しては、政治・経済の学習上、頻出かつ重要事項である需給曲線の盤石な理解がポイント。第1回ベネッセ・駿台マーク模試の第7問、問9(解答番号63)で、ローレンツ曲線を扱い、先進国と発展途上国の格差問題を取り上げた。是正に向け、均等分布線に曲線を近づけるためには直接投資の有効性を想起できるかがポイントであった。

いずれの設問も授業や教科書で学んだ理論や知識を、実生活や社会のできごとにつなげて考えたり、条件に沿って考察することが求められている。なお、本問(模試)の正答率は54.3%で、偏差値60～65では78.6%、偏差値55～60では73.3%、偏差値50～55では64.2%、偏差値45～50では47.8%、偏差値45未満では34.9%であった。基本事項の確実な定着と、習得内容を活用し社会のできごとをより深く捉えて考える力を育みたい。